



ユーザーマニュアル

VoiceStrip for PowerCore

サポート連絡先

TC SUPPORT INTERACTIVE

TC Support Interactive (www.tcsupport.tc) は、オンラインのサポート及び情報提供のためのウェブサイトです。TC Support Interactive では、TC ソフトウェア／ハードウェア製品に関する一般的な質問の解答を、製品／カテゴリ／キーワード／フレーズから検索可能です。一度サイトで登録を行ってログインすれば、「My Stuff」セクションから、質問の状況を調べたり、製品マニュアル／ソフトウェア・アップデート／プリセット等のダウンロードが行えます。

データベースはTC製品に関する最新の情報が満載です。お求めの情報がデータベースにない場合は、質問を提出することも可能です。この場合は、TCのテクニカル・サポートのスタッフが電子メールでご連絡させていただきます。



連絡先

また、インターネット以外でのお問い合わせにつきましては、各地域のTC支社または輸入代理店までご連絡ください。

TC ELECTRONIC A/S
Customer Support
Sindalsvej 34
Risskov DK-8240
Denmark

USA:
TC Electronic, Inc.
5706 Corsa Avenue, Suite 107
Westlake Village, CA 91362

www.tcelectronic.com

© BY TC ELECTRONIC A/S 2007. ALL PRODUCT AND COMPANY NAMES ARE TRADEMARKS OF THEIR RESPECTIVE OWNERS. VST IS A TRADEMARK OF STEINBERG AG, AUDIO UNITS IS A TRADEMARK OF APPLE COMPUTER, INC.

ALL SPECIFICATIONS SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

ALL RIGHTS RESERVED. TC Electronic is a TC Group company.

サポート連絡先	.2
目次	.3
イントロダクション	.4
一般情報	.5
VOICESTRIP - パラメータ	.8
メーター・セクション	.8
INPUT/OUTPUT GAIN - インプット／アウトプット・ゲイン	.9
LO-CUT - ローカット	.9
GATE - ゲート	.9
DE-ESSER - ディエッサー	.10
VOICE EQ - ヴォイスEQ	.10
COMPRESSOR - コンプレッサー	.11
プリセット管理	.13

イントロダクション

VoiceStrip は、ヴォーカル処理に必要となる様々なプロセッサー（コンプレッサー／ディエッサー／ヴォイス用EQ／ローカット・フィルター／ゲート）を統合したプラグインです。

Enjoy!

TC Electronic

動作環境

Windows

PowerCore ソフトウェア、バージョン 3.0 以降
Windows XP
PIII 1.4 GHz 以上
512 MB RAM
VST 対応ホスト・アプリケーション
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

Macintosh

PowerCore ソフトウェア、バージョン 3.0 以降
Mac OS X (10.4 以上)
G4 / G5 / Intel 搭載機 (1 GHz 以上)
512 MB RAM
VST / AU / RTAS[®] 対応ホスト・アプリケーション
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

※ RTAS (Pro Tools) の対応は、FXpansion 社によるサードパーティー製 VST-RTAS アダプター経由での動作となります。動作条件を含む詳細は www.tcsupport.tc をご参照ください。

はじめに

スクロール・ホイール対応

Windows XP / Mac OS X 共に、ホスト・アプリケーションが対応している場合は全てのパラメータをスクロール・ホイールから操作できます。マウスをパラメータの値フィールドの上に移動し、スクロール・ホイールを動かすと、パラメータの値を上下できます。

キーボード・ショートカット

多くのホスト・アプリケーションでは、次のキーボード・ショートカットが使用できます。次のショートカットは、全てのパラメータに有効です。

Mac OS X のショートカット

デフォルト復帰 = オプション

Windows のショートカット

デフォルト復帰 = シフト + コントロール

DSP 消費量

VoiceStrip 一つあたりの DSP 消費量は次の通りです (PowerCore X8 / FireWire / Compact / Express / mkII / Unplugged)。

44.1 kHz 時

モノラル: 33%
ステレオ: 41%

48 kHz 時

モノラル: 36%
ステレオ: 45%

88.2 kHz 時

モノラル: 69%
ステレオ: 85%

96 kHz 時

モノラル: 76%
ステレオ: 93%

プラグイン概要

アクティベート・ボタン：セクションをオン／オフします。

クリップ・インジケーター：過大入力によるクリップが生じると、赤く点灯します。

VOICE EQ - ヴォイスEQブロック

Gain - ゲイン：各バンドのレベルを調節します。

Frequency - フリークンシー (周波数)：ローとミッド・バンドの周波数を調節します。

Soft Satスイッチ：SoftSat アルゴリズムをオン／オフします。

LO CUT - ローカット・ブロック

Frequency - フリークンシー (周波数)：ローカット・フィルターのカットオフ周波数を指定します。

GATE - ゲート・ブロック

Threshold - スレッシュホールド：ゲートのスレッシュホールドを調節します。

Intensity - インテンシティ：設定が高いほど多くの信号が除去されます。

Red. - リダクション・メーター：ゲートによるゲイン・リダクションの量を表示します。



DE-ESSER - デ
Red. - リダクシ

Threshold - ス

Frequency - フ

Monitor - モニ

プラグイン概要

メーター：L/Rチャンネルの入出力メーターです。



Input - 入力レベル：VoiceStripの入力レベルを調節します。

Output - 出力レベル：VoiceStripの出力レベルを調節します。

COMPRESSOR - コンプレッサー・ブロック

Red. - リダクション・メーター：コンプレッサーによるゲイン・リダクション量を表示します。

Input Drive - インプット・ドライブ：ドライブ量を上げる程コンプレッションが強くなります。

Output Gain - アウトプット・ゲイン：コンプレッサー・ブロックの出力レベルを調節します。

Pre-EQ - プリEQスイッチ：Pre-EQを選ぶと、コンプレッサーはEQの前に施されます。

Ratio - レシオ：コンプレッション比を指定します。

Attack - アタック：コンプレッションが作動する際にレシオで指定した圧縮比率に到達するまでの反応時間を指定します。

Release - リリース：コンプレッションがスレッシュホールド以下に落ちた際に、コンプレッションがかかっている状態から元に戻るまでの時間を指定します。

ディエッサー・ブロック

メーター：ディエッサーによるゲイン・リダクションの量を表示します。

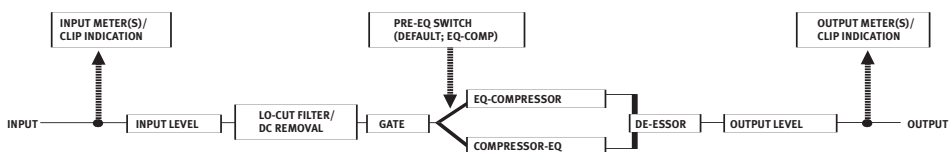
スレッシュホールド：入力がここで指定したレベルを超えた際にディエッサーが作動します。

フリークエンシー (周波数)：ディエッサーのカットオフ周波数を指定します。

メーター：サイドチェイン信号をモニターします。カットオフ周波数の指定に役立ちます。

VOICESTRIP - パラメータ

メーター・セクション



クリップ・インジケータ

フルスケールのサンプルが3つ連続するとインジケータが赤く点灯し、クリッピングが生じたことを示します。表示をリセットするには、数値をクリックします。

メーター

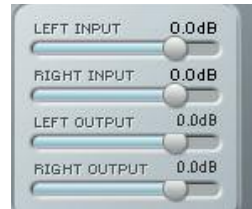
LEDメーターはPPMの値を表示します。高速なライズ・タイムとより低速なフォールバック・タイムを持ち、立ち上がりの速いトランジエントなサウンドの確認に適しています。RMSのメータリングに比べ、クリップの検知に適しています。

VOICESTRIP - パラメータ

Input / Output Gain -

インプット／アウトプット・ゲイン

VoiceStripの入出力ゲインを調節します。ステレオ時に左右チャンネルのグループを解除するには、シフト・キーを押しながら左右いずれかのチャンネルを操作します。



Lo Cut - ローカット

録音素材から簡単に不要な低域のノイズを除去することができます。カットオフ周波数は60～120 Hzの範囲で調整できます。ローカット・フィルターは12dB/オクターブの特性を持ちます。



Gate - ゲート

ゲートは、低い信号レベルを更に抑える、信号のダウンワード・エクスパンションを行いません。通常この処理は、ボーカリストが歌っていない時のノイズを除去するなど、無音時の不要なバックグラウンドノイズを除去する目的で使用されます。

Threshold - スレッシュホールド

信号がここで指定したレベルを下回ると、ゲートが作動します。スレッシュホールドが高いほどゲートは頻繁に作動します。



Intensity - インテンシティ

このパラメータはゲートの特性を司る複数のパラメータを統合的に調節します。最大ダンピング量、レシオ、アタック・タイム、リリース・タイムを一括して設定します。インテンシティが大きいほど除去される信号も多くなります。

Red. - リダクション・メーター

ゲート処理の状況を表示します。ゲートが開いている間、このメーターは点灯しません。LEDがすべて点灯している状態は、ゲートが完全に閉まっていることを示します。

VOICESTRIP - パラメータ

De-Esser - ディエッサー

通常、ディエッサーはボーカルやナレーション等の「サ」行音（歯擦音）の除去に使用します。VoiceStripのディエッサーは、スレッシュホールドを録音素材の平均レベルに比例させる手法を用いています。オーディオ素材の平均レベルに対してスレッシュホールドを指定できるため、素材の平均レベルの変動に関わらずディエッサーの効きは均一に保たれ、より音楽的なレスポンスが得られます。



Threshold - スレッシュホールド

信号がここで指定したレベルを超えると、ディエッサーが作動します。スレッシュホールドは信号の平均レベルに対しての指定となるため、レベルの低い素材にも使用できます。

Frequency - フリーケンシー（周波数）

ディエッサーのカットオフ周波数を指定します。

Monitor - モニター

ディエッサーのサイドチェイン信号をモニターします。カットオフ周波数の指定に役立ちます。サイドチェインは、ディエッサーが内部処理のために監視している信号です。

Red. - リダクション・メーター

ディエッサー処理によるゲイン・リダクションの量を表示します。除去されている信号が多いほど、多くのLEDが点灯します。

Voice EQ - ヴォイスEQ

イコライザー是最も一般的なシグナル・プロセッサの一つで、多くのパラエティーが存在します。VoiceStripのEQは、音楽的でアナログ・ライクな特性のチューニングが施されています。古典的なスタイルのEQをベースとしており、シンプルなパラメータにより素早く調節を行なえるようデザインされています。各バンドにはソフト・リミッターが内蔵されており、ウォームでアナログ・ライクなサウンドが得られます。



ロー・バンド・フィルター

ロー・バンド・フィルターは、18 dBのゲイン幅を持ったシェルピング・フィルターです。周波数の設定レンジは100 Hz ~ 350 Hzです。フィルターのスローブはゲインの設定に連動して調整されます。

VOICESTRIP - パラメータ

ミッド・バンド・フィルター

ミッド・バンド・フィルターは、18 dBのゲイン幅を持ったベル型のフィルターです。周波数の設定レンジは700 Hz～7 kHzです。フィルターのバンドワイズはゲインの設定に連動して調整されます。

ハイ・バンド・フィルター

ハイ・バンド・フィルターは、2.5 kHz固定のシェルピング・フィルターです。ゲインの設定レンジは18 dBです。

SoftSat On/Offスイッチ

SoftSat機能をオン/オフします。SoftSatは、アナログのチューブ機器のウォームなアナログ感を再現します。EQが過度にドライブされデジタルのハード・クリップが生じてしまうのを防ぎ、代わりにソフトなハーモニック・ディストーションを生成します。

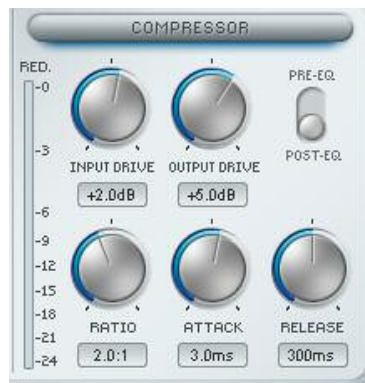


この歪みは、ディストーション・ペダルやギター用のチューブ・アンプなどによる歪みとは異質なものです。この処理はより微妙な色づけを行ない、信号のクリッピングが生じうる部分にのみ適用されます。

Compressor - コンプレッサー

VoiceStripの他のセクション同様に、このコンプレッサー・アルゴリズムはヴォイス用にチューニングされており、ヴォーカルで音楽的なサウンドが得られるようにヴィンテージ・ライクで若干特種なデザインとなっています。このコンプレッサーはフィードバック・タイプで、サイドチェイン入力を出力から得ます。

このブロックでは、SoftSat（概要はEQセクションを参照）は常時オンとなっており、ウォームでアナログ・ライクなコンプレッションが得られます。



Input Drive - インプット・ドライブ

このコンプレッサーのスレッシュホールドは-24 dBに固定されています。Input Driveを調節することでコンプレッションの量を調節します。ドライブさせるほど、コンプレッションがかかります。

Output Drive - アウトプット・ゲイン

コンプレッション後の信号のレベルを調節します。

VOICESTRIP - パラメータ

Pre EQ / Post EQ - プリEQ / ポストEQ スイッチ

EQとコンプレッサー・ブロックの接続順を指定します。通常コンプレッサーはEQの後に配置されますが、EQをコンプレッサーの後に配置したい場合にはPost EQを選びます。

Ratio - レシオ

コンプレッション比を指定します。1:1の設定ではコンプレッションは行なわれず、64:1ではリミッターに近い強いコンプレッションが行なわれます。ヴォイス用のプロセッシングでは、2:1～5:1あたりの設定が一般的です。

Attack - アタック

コンプレッションが作動する際にレシオで指定した圧縮比率に到達するまでの反応時間を指定します。

Release - リリース

コンプレッションがスレッショルド以下に落ちた際に、コンプレッションがかかっている状態から元に戻るまでの時間を指定します。

Red. - リダクション・メーター

コンプレッションによるゲイン・リダクションの量を表示します。コンプレッションが強いほど、多くのLEDが点灯します。

プリセット管理

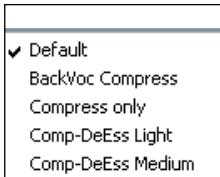
はじめに

通常はPowerCoreのファイル管理システムを使用することをお勧めいたします。PowerCoreのファイル管理システムは、プリセットのリコール（呼び出し）／ストア（保存）／コンペア（比較）機能に加え、他のホスト・アプリケーションやプラットフォームを使用している環境との間でもプリセットの交換が簡単に行える利点を持ちます。



File - ファイル

Fileをクリックすると、ファイル・メニューが開きます。



Load Preset (ロード・プリセット) - デフォルト・プリセットをロードします。

Save Preset (セーブ・プリセット) - My Presets フォルダにプリセットを保存します。

My Presets (マイ・プリセット) - 独自に作成したプリセットをロードすることができます。



プリセットを My Presets フォルダ以外の場所に保存した場合、それらのプリセットは My Presets ドロップダウン・メニューに表示されません。その場合は、Load Preset 機能でロードするプリセットの場所を指定できます。

Preset Name - プリセット名

プリセット名です。

Up / Down - アップ／ダウン

上下矢印でプリセットを順番に切り替えることができます。

プリセット管理

A/B

A/B 比較機能で、二つの設定を比較しながら作業を進めることができます。

プリセットの操作をはじめた段階では、A/B ボタンは灰色で表示されます。この状態は、A と B の内容は同一で、比較を行なう内容がないことを示します。

パラメータを一つでも変更すると、メモリー「A」がアクティブとなります。パラメータの変更内容は全て「A」に反映されます。「B」に変更すると、始点に戻り、そこからの変更は全て「B」に反映されます。A/B ボタンを押すごとに、この二つの状態が切り替わります。



A/B メモリーは、あくまでも一時的な設定の保存場所です。プリセットの保存は、現在選択されているメモリー場所のみを保存します。他の（隠れた）メモリー場所の設定は、保存されません。

Reset - リセット

Reset ボタンを押すとメモリーがクリアされ、プリセットがリコールされた元の状態に戻ります。

デフォルト・プリセットの保存場所

デフォルト・プリセットは、それぞれのプラグイン固有のフォルダに保存されます。

Mac OS X

ファクトリー・プリセット

<Macintosh HD>/ライブラリ/Application Support/TC Electronic< プラグイン名 >/Presets/

ユーザー・プリセット

/Users/< ユーザ名 >/ライブラリ/Application Support/TC Electronic< プラグイン名 >/Presets/

Windows

ファクトリー・プリセット

C:\Program Files\TC Electronic< プラグイン名 >\Presets

ユーザー・プリセット

C:\Documents and Settings< ユーザ名 >\My Documents\TC Electronic< プラグイン名 >\Presets

- プリセットを消去するには、ゴミ箱に移動します。
- プラグイン・メニューでサブフォルダが表示される様にするには、プラグインのデフォルト・プリセットの保存場所にある PRESETS フォルダ内に新しいフォルダを作成します。



フォルダ内に最低一つのプリセットが含まれていないと、フォルダはプリセット・ファイル・メニューに表示されません。